



岩井美保子議員

総合検診の問題点は

周知方法を検討する

問 総合検診の案内については、ケーブルテレビ、広報「だいせん」、防災無線放送等でPRは出来ていると思っていたが、たくさんの方から苦情があった。

(1) その原因は。

(2) 来年度に向けての改善策は。

また、従来の基本健診が特定健診に変更され、健診結果により特定保健指導の対象となる方を選定する必要があったため、健診の時期を例年より早めたことも、混乱の原因であると考えている。

(2) 来年度は、この反省を踏まえ、広報や防災無線

放送、ケーブルテレビ等を活用し、申し込み方法や実施時期について、周知を図りたい。

また、特定の会場に集中しないよう、日程の組み方に工夫するとともに、胃がん・肺がんの休日検診を、新たに1回実施することを検討している。

答 (山口町長)

(1) 本年度から、法改正により健診は各医療保険者が行うことになり、町が行う人間ドックの対象者も、40歳から74歳までの国民健康保険加入者に変更になった。

案内状は、対象者へ国民健康保険証を郵送した際、封筒の表に「人間ドックのお知らせ在中」と明記し、送付したが、多くの方がこの通知を見逃されたため、特定の健診会場に受診者が集中した。



円滑な検診のため対策を

学校給食のその後は

委託業者を決定

問

学校給食センターの調理業務を、民間委託することに決まっているがその後の状況はどのようになっているか。

(1) その内容について。

(2) 食材確保をどのように考えているか。地元で栽培された食材の量を確保するため、氷感庫を導入する考えはないか。

(3) 学校給食に「事故米」を使用した新潟県産の厚焼きたまごが出された。なぜ新潟県の厚焼きたまごなのか。地元の新鮮な卵は使用できないものか。

学校給食センターの調理業務を、民間委託することに決まっているがその後の状況はどのようになっているか。



「地産地消」を推進し、安全安心な給食を

答

(伊澤百子教育委員長)

(1) 11月17日に学校給食調理業務委託審査委員会を開催し4社のプロポーザルに引き続き、審査委員により、事業費、学校給食の実績、実施体制、衛生管理体制、食育や食物アレルギーへの対応等の点について審査を行い、「株式会社メフォス」を委託先に選定した。

(2) 食材の選定や発注・購入は従来どおり所長や学校栄養職員が行うので「地産地消」を推進し、安全

安心できる地元の食材を出来るだけ使用したい。氷感庫については検討してみる。

(3) (山田晋教育長)

給食時間までに確実に届ける時間的な制約の中で、全ての食材をセンターで調理するのは難しいため、第1次の調理を専門業者をお願いしているなかで今回の事件が起きた。今後どのような改善が必要なのか検討している。